

## 『C型肝炎経口剤（DAA）治療による ウイルス駆除後の問題 Post SVR syndrome』

肝臓川柳

駆除後でも シッカリ経過を 診ていくじょ〜』



診ていくじょ・・・いくじょ・・・いくじょ・・・駆除）≪鉄板です！

C型肝炎は現在経口抗ウイルス剤（DAA）により、高齢者でも代償性肝硬変の方でも、ほとんど副作用なく95%以上がウイルス排除（sustained viral response : SVR）されるようになりましたが、SVR後の新たな問題がクローズアップされています。

- ① SVR後発癌
- ② SVR後B型肝炎再活性化
- ③ SVR後高脂血症

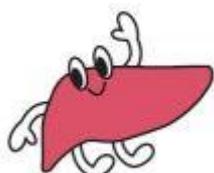
3つを合わせてPost SVR syndromeと呼ぶ場合もあります。

SVR後発癌に関しては、肝癌治療後肝硬変例を多く対象としているため、肝癌治療後残存による再発も含まれていると思われ、今後もう少し長期の検討が必要です。

C型肝炎ウイルス駆除後の高脂血症発生は以前（IFN時代）から言われています。

C型肝炎ウイルス増殖には多くの脂肪が必要ですが、駆除されるといなくなり高脂血症を来すようです。高脂血症を来す期間や治療の必要性についてはこれからの検討課題です。

ウイルスが駆除されても多数の問題が残っています。



これだけ覚えておけば損はない！

今 回 の ポ イ ン ト

C型肝炎は薬の効果により、高率でウイルスを駆除できるようになってきましたが、SVR後の新たな問題として、発癌、B型肝炎再活性化、高脂血症などがクローズアップされています。

ウイルスが駆除されても多数の問題が残っていますので、継続的な観察が必要です。

（文：福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ツ俣 和夫）